

まもなく誕生2周年

# 情報発信コーナー企画展 豊橋市図書館「知の伝道師」 活動紹介展



豊橋市図書館  
知の伝道師  
Toyohashi City Library  
evangelist-of-knowledge

展示期間 令和5年8月26日（土）から9月24日（日）

展示場所 中央図書館1階情報発信コーナー



## ■ご挨拶■

豊橋市図書館「知の伝道師」は、令和3年9月に、図書館と連携して活動していただける個人や団体、企業の皆さまを登録する制度として募集を開始しました。令和5年8月現在、24組の個人や団体、企業の皆さまに、それぞれが培った活きた情報を図書館が主催する講座やイベント等で、情報を必要としている人に提供していただいています。

今回、「知の伝道師」誕生2周年を機に、「知の伝道師」誕生の経緯やこれまでの講座や展示の様子を広く利用者の皆さまにご紹介する展示を開催する運びとなりました。本展示を通して、本制度の趣旨や誕生以降の取組みを網羅的に知っていただくことができると思います。

明治から令和まで図書館が歩んできた110年間、社会や文化は大きく変貌を遂げ、図書館に期待される役割も変化してきています。今後も、図書の貸出、返却だけでなく、地域の多彩な人材を掘り起こし、知識や情報を発信する人と必要とする人をつなぐことにより、利用者の皆さまの自主的な活動を促す等、図書館の知識と情報、交流と創造拠点としての機能を高めていきます。

今回の展示開催にあたり、資料提供や展示監修等ご協力いただいた「知の伝道師」の皆さまには、厚く御礼申し上げます。

令和5年8月 豊橋市図書館

## ■目次■

◎「知の伝道師」は知識・情報を地域に還元するパッケージ	2
◎「知の伝道師」ができるまで!	3
◎「知の伝道師」活動の様子	6
◇「知の伝道師」リレー講座	6
◇豊橋市図書館開館110周年事業	8
◇その他	11
◎「知の伝道師」の知識・情報に触れる	12
◇「知の伝道師」No.16 豊橋筆伝統工芸士会	12
◇「知の伝道師」No.1 三遠ネオフェニックス	14
◇「知の伝道師」No.24 東三河動物福祉の会 命にやさしいまちづくり ハーツ	16
◇「知の伝道師」No.8 サーラエナジー株式会社豊橋供給センター	17

※「知の伝道師」については、原則として敬称を省略しました。

# 「知の伝道師」は知識・情報を地域に還元するパッケージ

## ■豊橋市図書館「知の伝道師」とは■

豊橋市図書館「知の伝道師」(以下、「知の伝道師」と表記。)は、自身の持つ「**知識**」や「**情報**」を生かして図書館で活動していただく個人や企業、団体の皆さんです。地域内にいらっしゃる多彩な人材を発掘し、「知識」や「情報」を発信している方と、それらを必要としている人とをつなぐことで、豊橋市が目指す図書館像「知と交流の創造拠点」としての機能を高めていくことを目的としています。

令和5年8月現在、**地域や趣味、生活に関する内容**に精通した個人や団体、企業の方、25人(団体)に登録いただいています(主な登録分野は**表1**参照)。

## ■なぜ、「知の伝道師」ができたのか？■

「知の伝道師」誕生の契機は、令和3年11月に開館した**まちなか図書館の整備**です。豊橋市まちなか図書館(仮称)整備基本計画(平成27年3月)において、図書館でまちづくりを担う人材を育成することを掲げ、また、豊橋市図書館基本構想(平成31年3月)においても、“図書、知識、情報、人などを、図書館という空間を通して直接結びつけるまちづくりの拠点としての機能”を目指すこととしました。そこで、“**人から人へ活きた言葉で地域の情報を継承し、まちづくりに繋げる**”ための仕組みの整備が必要になりました。

表1 主な登録分野

地域	
バスケットボール/帆前掛け 豊橋筆/鉄道旅客運輸	
趣味	生活
養蜂	こども・若者相談支援
ハンドメイド	ガス供給事業
美術史	植物療法
速読	医療

# 「知の伝道師」ができるまで！

## ■ 募集開始 ■

令和3年7月から8月にかけての準備期間を経て、9月の広報とよはしに「図書館サポーターズメンバー募集」の記事を掲載したことを皮切りに、「知の伝道師」の募集を開始しました。そして、すぐに募集開始の情報は地元紙・東日新聞や国立国会図書館が運営するWebサイト「図書館に関する情報ポータル（カレントアウェアネス）」で紹介されました。

同じく9月、地元のプロバスケットボールチームで図書館と長年連携するとともに地域貢献活動にも積極的に取り組んでいる「三遠ネオフェニックス」が名乗りをあげてくださり、第1号に登録しました。



三遠ネオフェニックス 鹿毛 誠一郎さん（左）  
豊橋市図書館 岩瀬 彰利 主幹学芸員（当時）（右）

## ■ 活動開始 ■

募集開始以降、登録者数は順調に増え、令和4年1月から3月には、医療や子育てといった生活に関する情報から、地域の伝統や花、手芸といった趣味に役立つ情報まで幅広い分野の講座『豊橋市図書館「知の伝道師」リレー講座』を実施しました。また、令和4年度は、豊橋市図書館が開館110周年イヤーということもあり、1年通して開催する様々な催事の中で美術や港湾、プロバスケットボールなど幅広い知識や情報を利用者の皆さまに届けていただきました（時期や内容は次ページ参照）。

## ■これまでの取組一覧■

活動以降、「知の伝道師」による多彩な取組みを開催してきました（表2参照）。

知識・情報を参加者に直接伝える講座のほか、  
図書館主催の企画展や講座に関連したミニ展示  
における、**展示内容の監修**を行っていただ  
いたことも特徴の一つです。



魅せ方もこだわった展示監修の様子  
(ミニ展示「豊橋の『伝統』を知る～帆前掛け展～」)

表2 令和3年9月以降の「知の伝道師」関連の取組

時期	タイトル	内容	「知の伝道師」 (所属、肩書は開催当時)	区分
令和4年1月	リレー講座 「養蜂の世界」	講師が自宅の庭で飼育し、観察している日本蜜蜂の四季の行動や日本各地の養蜂について紹介	金原 賢治	講座
	リレー講座 「伝染病が変える世界」	ペストや新型コロナウイルス感染症を歴史的に振り返り、私たちと伝染病との関わりを紹介	三木 隆治 (医師)	講座
2月	リレー講座 「ハンドメイドの世界」	初級者から上級者まで使えるハンドメイド本の活用術を紹介し、毛糸を使い「しおり」を製作	わたなべ なおこ (handmade*cocorn)	講座
	リレー講座 「日本のすみれ」	講師が20年以上に渡り、葦毛湿原等で観察したデータを使い、日本のすみれの楽しみ方を紹介	金原 賢治 (すみれを楽しむ会)	講座
3月	リレー講座 「エンデの『モモ』に学ぶ 子どもの声を“聴く”方法」	幼少期における本との出会いについてのお話を通して、子ども・若者の心を育てる方法を紹介	金田 文子 (一社)東三河セーフティネット代表理事)	講座
	リレー講座 「日本一の生産地 豊橋の 帆前掛けの歴史と技」	豊橋が帆前掛けの産地となった歴史をはじめ、生地づくりや製造工程を実演とともに紹介	(株)間瀬織布工場	講座
	ミニ展示 「豊橋の『伝統』を知る ～帆前掛け展～」	帆前掛け製造に関わる職人の声をまとめたパネルを通じ、伝統に向き合う職人の思いを紹介		展示
5月	110周年記念企画展 「図書館で名画鑑賞」	司文庫の中から19、20世紀の西洋絵画の美術書を展示する中で、西洋画家やその作品を解説	山田 幹	展示
	110周年記念事業「リレートーク」① 『画家と絵画と価値の話 ～“変わる”きっかけ～』	家に帰って話したくなる19、20世紀の西洋絵画の世界をオークションの視点から紹介		講座
7月	夏休みの宿題応援！ ポスター教室	小学1～3年生を対象に、夏休みの宿題であるポスターの下絵の完成を目指す	田中 絵里加 (いのうえ児童画教室分室 アトリエイノコ)	講座

8月	110周年記念事業「リレートーク」④ 「知るほど 深掘り 三河港豊橋エリア」	港湾整備事業を研究する講師が、三河港の歴史 的変遷をたどり、豊橋の港湾の今と未来を紹介	山田 健（獨協大学特任助手）	講座
	ミニ展示「港の世界」	全国各地の港湾の研究から港の魅力を紹介		展示
9月	110周年記念事業「リレートーク」⑥ 「カゲカフェ～ホームタウン 活動から見たもの～」	東三河地域でのホームタウン活動を振り返り、 現在連携している方たちと今後の展望を紹介	三遠ネオフェニックス	講座
10月	芸術の秋企画「良い絵」とは？ ～オークションの視点～	「オークション」をテーマに、何が「良い絵」 とされるか、美術品の価値や見方に関して紹介	山田 幹	講座
12月	110周年記念事業 「図書館さんぽ～羽根井・ 花田エリア～」	中央図書館のある羽根井エリアや近隣の花田エ リアの史跡や名所を回り、約2kmを歩く	豊橋観光ボランティアの会 ほの国豊橋案内人	講座
令和5年1月	豊橋市図書館110周年に選ぶ おすすめの110冊プロジェクト	豊橋市図書館が行う市民連携先の方々に、それ ぞれ1冊ずつおすすめ本「愛読書など後世に読 み継ぎたい」本を選んでもらい、本のおすすめ コメントを出していただいた。	(株)間瀬織布工場 三木 隆治（医師） 山田 健（獨協大学特任助手） 山田 幹 わたなべ なおこ (handmade*cocorn)	選書
	110周年記念セレモニー	図書館の開館110周年記念日に実施した記念セ レモニーにおいて、110周年検定成績優秀者の 表彰において記念品提供や特別展「豊橋市図書 館110周年に選ぶおすすめの110冊」テープカ ット、関連企画にご協力いただいた。	三遠ネオフェニックス (株)間瀬織布工場 山田 健（獨協大学特任助手） わたなべ なおこ (handmade*cocorn)	協力
3月	110周年記念事業「リレートーク」④ 「豊橋鉄道の履歴書」	豊橋鉄道の歴史の変遷を辿りながら、豊橋の公 共交通について紹介	豊橋鉄道株式会社	講座
	ミニ展示「記念切符で 辿る豊橋鉄道の歴史」	豊橋鉄道発行の記念切符や“おでんしゃ” “ビール電車”などの資料を展示		展示
5月	企画展「司文庫で徹底解剖～ 浮世絵～」	海外の作家にも影響を与え、今なお根強い人気 のある“浮世絵”の作家やエピソードを紹介	山田 幹	展示
	企画展イベント「その浮世絵、 捨てちゃうんですか？」	幕末に衰退した江戸文化・浮世絵が、なぜ美術 品として高額取引される存在になったかを紹介		講座
7月	きっと港に行きたくなる！ 三河港豊橋エリアの魅力	日本を代表する自動車流通港湾・三河港の凄い ポイントや面白いポイントについて紹介	山田 健（静岡大学講師）	講座

次のページからは、各講座・展示の様子などをご紹介します。

# 「知の伝道師」活動の様子

ここでは、これまで行った「知の伝道師」の活動の様子をいくつかご紹介します。

## ■ 「知の伝道師」リレー講座（令和4年1月～3月） ■

### 養蜂の世界（「知の伝道師」No.2 金原 賢治）

自身が養蜂を始めたきっかけや5年にわたる養蜂の様子を写真と動画で紹介。実際の養蜂に使用する道具も披露。“週末養蜂”といわれるように、**意外にも簡単に始めることができる**養蜂の世界をお伝えしました。

「日本蜜蜂に興味を持っていただく人を増やすこと」を講座の狙いと話した金原さんの狙い通り、講座終了後には、実際に金原さんに蜂を分けてもらい、養蜂を始めた方もいます。今後の、豊橋での養蜂の輪が広がることが期待されます。



### 伝染病が変える世界

（「知の伝道師」No.3 三木 隆治）

「新しい感染症が次々と生まれる環境下で、人類は努力していることを伝えたい」と三木さん。まさにタイムリーな”伝染病”をテーマに講演いただきました。

14世紀に流行したペスト、終息の兆しが見え始めた新型コロナウイルス感染症の流行過程を紹介し、「人類は、観察し、記録し、新しい治療法を発見する知を身につけている。パニックコントロールも社会的にできている。」とまとめました。



### ハンドメイドの世界

（「知の伝道師」No.5 わたなべ なおこ）

「ハンドメイド好きを増やしたい」と話すわたなべさん。図書館の所蔵でわたなべさんがおすすめるハンドメイドの図書資料を初心者、中級者のランクごとに紹介していただきました。その後、わたなべさんが作成したレシピをもとに、参加者が好きな色の糸を使って“本のしおり”を作成しました。

終始、会場内は楽しい雰囲気、ハンドメイドの奥深い世界に触れることができたワークショップになりました。





# 日本一の生産地 豊橋の帆前掛けの歴史と技 ミニ展示「豊橋の『伝統』を知る～帆前掛け展～」

（「知の伝道師」No.7 株式会社間瀬織布工場）

「帆前掛けの存在と豊橋に残る産業の存在を伝えたい」と語る間瀬織布工場の皆さん。繊維業の歴史や製造最盛期の様子など、関係者の話をまとめた資料で紹介したほか、家庭用ミシンで帆前掛けの縫製を実演しながら、帆前掛けの製造の実態を説明しました。参加者からは、工場見学などを希望する声も寄せられました。

講座に合わせて、多くの帆前掛けや糸のほか、間瀬織布工場の皆さんに帆前掛けの魅力をインタビューしてまとめたパネル等を展示し、「伝統」に向き合う職人の思いをお届けしました。

豊橋が一大産地の帆前掛けの良さが広がることが望めます。



## 日本のすみれ

（「知の伝道師」No.2 金原 賢治）

「すみれの多様性や豊橋で絶滅危惧種・キスミレが増えていることを伝えたい」と金原さん。湖西連峰・風越峠に分布する絶滅危惧種・キスミレが、笹の刈取りや杭・縄張りをして保護することにより、増えている現状を紹介しました。また、全国のすみれの分布、すみれ栽培のポイントといった基礎知識も色彩豊かなスライド資料で紹介しました。すみれ栽培のコツは、「毎日すみれの表情をみること」だといいます。ぜひ、身近な地域の情報を多くの方に繋げていきたいです。



## エンデの『モモ』に学ぶ 子どもの声を“聴く”方法

（「知の伝道師」No.4 金田 文子）

「大切な人の話を聴くコツをつかんで、穏やかな日々の一助になれば」と話す金田さん。

子育て中・終えた方、『モモ』に関心があるなど、参加動機や立場が様々の参加者は、初めに金田さんの“聴くこと”との出会いや『モモ』を通じて“聴き方”を掴みました。その後、参加者同士で、一枚の絵を眺めて感じたことを共有し、互いに思い思いの言葉で伝え、“聴く”交流を行いました。

1冊の本を通じた参加者同士の交流ができる場を期待する声もあり、図書館が「知と交流の創造拠点」の機能を発揮した講座でした。



## ■豊橋市図書館開館110周年事業（令和4年4月～5年3月）■

豊橋市図書館開館110周年を迎えた令和4年度は、「本とつながる、人とつながる」をテーマに、図書館の歩みや100周年以降の新しい取組を紹介するなど図書館の過去・現在・未来をつなぐ、様々な記念事業を展開しました。こうした中で、「知の伝道師」の方々には、幅広い内容の図書館活動にご協力をいただきました。

### 企画展「図書館で名画鑑賞」

#### リレートーク第1弾「画家と絵画と価値の話～“変わる”きっかけ～」

（「知の伝道師」No.6 山田 幹）

図書館が誇る洋書文庫・司文庫の中から、19、20世紀の西洋絵画に関する美術書を紹介する展示を開催。ゴッホやピカソなど西洋画家やその作品を紹介するにあたり、オークション業界に勤めた経験のある山田さんに監修いただきました。

展示期間中には、山田さんによる美術品の文化的・資産的な価値や、19、20世紀に活躍した画家とその作品、特徴を紹介する講座を開催。山田さんによると、美術品の価値は“希少性”“本物か”“資産価値”“独自性・物語性”の4つの視点で決まるといいます。「偏見でモノを見てほしくない」と山田さん。まだまだ、私たちには知らない世界があることを教えてくれました。



### リレートーク④知るほど 深掘り 三河港豊橋エリア ミニ展示「港の世界」

（「知の伝道師」No.19 山田 健）

「“港湾行政”という知られざる世界を知ってもらいたい」と名古屋や鹿島を中心に戦後日本の港湾政策を研究する山田さん。今回は、国や地方自治体がどのように港湾を整備してきたか、三河港豊橋エリアの歴史的変遷をお伝えしました。戦後復興期から高度経済成長期にかけて全国に港湾が乱立する中で、三河港が着実に自動車流通港湾として地位を確立する過程を行政学者の視点からお伝えできました。



## リレートーク⑥カゲカフェ ～ホームタウン活動から見たもの～

(「知の伝道師」No.1 三遠ネオフェニックス)

約3年に及ぶ三遠ネオフェニックスの地域貢献活動を膨大な写真資料から、対談形式で振り返るこの企画。のびるん de スクールでの小学校訪問や地域で行われる各種イベント出展、それぞれで起きたエピソードや参加にかける思いなどを熱く語っていただきました。

時折、参加者が簡単にできる体操を行いながら、終始まるでカフェにいるかのような気軽な空間で、トークを楽しみました。



## 芸術の秋 企画 良い絵とは？オークションの視点

(「知の伝道師」No.6 山田 幹)

自身が美術に興味を持ち美術史を専攻したきっかけ、普段聞くことのできないオークション業界の話を紹介してくれた山田さん。

最後に、様々な作品を感覚的に見て、好き、嫌いと思った作品については、その理由を考えたり調べたりすることを勧め、描いた作者のことや、作品の背景を知ることによって、その作品に対する印象が変わるとまとめました。山田さんにとって「良い絵」とは、私たちに何か変わるきっかけを与えるものと話します。



## 図書館さんぽ～羽根井・花田エリア～

(「知の伝道師」No.21 ほの国豊橋案内人)

図書館の母体・羽田八幡宮文庫であることから、羽田八幡宮をゴールに据えた「豊橋観光ボランティアガイドの会 ほの国豊橋案内人」の皆さんが考えた渾身のルートをまちあるきする初めての企画。まちあるきの前に、訪ね歩く史跡や名所について、案内人の皆さんの知識を結集したスライドで紹介。砲弾が鎮座する八剣神社（羽根井町）や室町時代末創建の金光寺（花田町）などの歴史あるスポットで、成立ちやエピソードを披露していただきました。単にウォーキングだけではなく、郷土の歴史を肌で感じるができるよい機会となりました。



# 110周年記念セレモニー おすすめの110冊プロジェクト

(「知の伝道師」No.1 三遠ネオフェニックスほか)

令和5年1月15日、三遠ネオフェニックスを始め110周年記念事業にご協力をいただいた「知の伝道師」の皆さんがセレモニーに参加し、開館110周年を一緒にお祝いしていただきました。特に、三遠ネオフェニックスの方は、セレモニーの代表挨拶（鹿毛 誠一郎さん）や110周年検定成績優秀者への記念品提供、関連企画として実施したバスケットボールのシュートチャレンジブース出展にお力をお借りしました。

また、図書館4館がそれぞれの活動の中で連携している個人や企業、団体に図書館職員を加えた110名が選んだおすすめ本を展示する特別展「豊橋市図書館110周年に選ぶおすすめの110冊」が同日から始まり、多くの「知の伝道師」が選んだ未来に読み継ぎたい本が並びました。

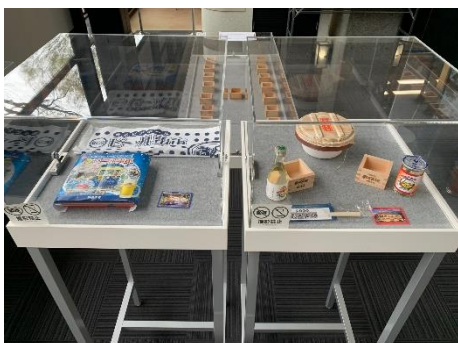


## 豊橋鉄道の履歴書 ミニ展示「記念切符で辿る豊橋鉄道の歴史」

(「知の伝道師」No.10 豊橋鉄道株式会社)

前身の豊橋軌道株式会社の時代を含め、地域と約100年近くともに歩んできた豊橋鉄道。講演は2部構成で、第1部では、同社が市内電車線（市電）や渥美線など豊橋における公共交通の重要部分を担うに至った過程を、第2部ではおでんしゃ・納涼ビール電車を運行する現役のベテラン運転手から、市内線運行の裏側など公共交通の楽しみ方をお話しいただきました。

また、講座開催前後の期間には、令和3年度に市民より図書館に寄贈された豊橋鉄道発行の記念切符のほか、同社からお借りしたおでんしゃ・納涼ビール電車で配られる実物資料など、豊橋鉄道の歴史をより深く知っていただけるような展示を開催しました。



## 夏休みの宿題応援！ポスター教室

(「知の伝道師」No.18 田中 絵里加)

小学1～3年生を対象に、2時間でポスターの下絵の完成を目指すこの講座。ポスターの題材を事前に決めて参加してくれたお子さんたちが、参考になる図書館の資料を活用しながら、思い思いの下絵を描いていくなか、田中さんは一人ひとりに対して丁寧にアドバイスをしていました。お子さんたちは、おうちで色を塗って完成させることができるよう、仕上げに向けて手を進めていました。



## 司文庫で徹底解剖～浮世絵～ トークショー「その浮世絵、 捨てちゃうんですか？」

(「知の伝道師」No.6 山田 幹)

これまでに西洋絵画の講演をしていた山田さん。今回は、オークションの視点から、海外の作家にも影響を与えた日本の文化・浮世絵を掘り下げました。幕末の動乱の中で衰退した浮世絵が、なぜ”美術品”となり高額で取引される存在になったのかをお話しいただきました。



## きっと港に行きたくなる！ 三河港豊橋エリアの魅力

(「知の伝道師」No.19 山田 健)

海の日で開催される豊橋みなとフェスティバル開催に合わせ、豊橋市みなと振興課協力のもと、三河港豊橋エリアの魅力をお伝えするトークショー。夏休み直前ということもあり、親子連れの参加者にも港の凄いポイントや面白いポイントについてお話しいただきました。



# 「知の伝道師」の知識・情報に触れる

## ■ 「知の伝道師」 No.16 豊橋筆伝統工芸士会 ■

今から 200 年以上前の江戸時代から作られている豊橋の誇る産品「豊橋筆」。  
西日本の熊野筆（広島県）、奈良筆（奈良県）と並び、筆の産地である豊橋では、  
豊橋筆伝統工芸士会の皆さんがその伝統を守り続けています。

令和4年1月には、“伝統を守っていくこと”など職人の皆さんの思いを紹介する  
企画展「豊橋の『伝統』を知る～豊橋筆展～」の開催にご協力をいただきました。



### 知識★伝統的工芸品の苦悩★

国が指定する伝統的工芸品に貼られるこのマーク。  
その指定に、**伝統的に使用されてきた原材料**という要件があります。

伝統的工芸品の豊橋筆は、馬やイタチなど動物の毛を使用しています。しかし、筆を使う方々の要望の変化により、動物の毛にナイロン繊維を加え力強くするなど、動物の毛だけでは対応できなくなっています。豊橋筆であっても、数%のナイロン繊維が入ることで、伝統的工芸品の表示ができません。伝統的工芸品であるがゆえに、融通が利かないそうです。



伝統証紙  
(伝産シール)



豊橋市図書館「知の伝道師」が伝える

## 豊橋筆に携わる工芸士の思い

過去のインタビュー内容を再編集しています。



伝統工芸士 川合 福男さん

### ◆一人でやり遂げる◆

弟子育成や市外にも足を運び子供たちに教えるなど、筆作りを次世代に繋ぐ活動をする川合さん。複数の職人が分業で製造する産地もある中、豊橋筆では、全工程を自分の責任で行っています。「一人で作ることは、ものづくりで一番いいこと。次の段階を楽にするため、ここをよく

しようとか全工程に集中して取り組みます。」と話します。

### ◆合うものを届ける◆

ご家族で豊橋筆の製造に関わり、材料の流通などに精通する杉浦さん。新型コロナウイルス感染症で、書の展覧会や教室が中止となり、豊橋筆は大打撃を受けました。

「筆のような趣味の道具は、無くても生活できるから一番最後に買ってもらうもの。だから、販売側としてはやりにくかった。」と振り返ります。

「(生活様式が変化した今だからこそ) お店で見て、実際に触れて、試して、気に入ったものを買ってほしい。」と話します。



伝統工芸士 杉浦 美充さん

### ◆伝統を守る◆

豊橋筆伝統工芸士会会長として、豊橋筆の普及活動に取り組む中村さん。他の工芸士が行わない軸(筆の持ち手)作りまで、教わって挑戦しています。

「筆を初めから一人で考えて作れと言われてもできない。江戸時代から工夫を重ねてきたからできる。先人の努力を少しずつ積み重ねた結果が今になって、それを受け継ぐのが伝統だと思う。」と話します。

文字を書く文化が残っていれば、筆も必然的に必要になっていきます。

「文化を残すためにも、筆は作っていきます。」と話します。



伝統工芸士 中村 全宏さん

## ■ 「知の伝道師」 No.1 三遠ネオフェニックス ■

愛知県東三河地域と静岡県遠州地域を本拠地に、  
スポーツを通じて地域に根差した活動を展開するプロバスケットボールチーム。  
図書館では、平成29年から6回にわたって毎年9月中旬から10月にかけて  
チームの応援企画として「三遠ネオフェニックス展」を開催してきました。



### 豊橋市図書館「知の伝道師」が語る バスケットボールの魅力



語るのは・・・



#### San-En アンバサダー 鹿毛 誠一郎さん

2mの身長を生かしフェニックスの選手として10年プレーした後、コーチ、GMを経て現在は「SAN-EN アンバサダー」として地域の皆さんと一緒に地域を盛り上げる活動を行なっています。  
“カゲっち”というキャラクターと共に地域に笑顔を届けています。





## ◆バスケットボールの魅力◆

バスケットボールの魅力は、**2 mを超える大男たちが体をぶつけ合う迫力あるプレーを間近で観れること**です。また、小柄な日本人選手がスピードと技で大男たちを翻弄する姿も魅力の一つです。

今季のフェニックスは、スピード感があって遠くからのシュートである3ポイントシュートが得意な選手が多く、観ていて面白いチームになる事は間違いありません。ぜひ満員の試合会場で泥臭く戦う選手たちを後押しして下さい。



プレーの様子（金丸 晃輔選手）

## ◆新シーズン注目の選手や意気込み◆

今季も10月から日本最高峰のプロバスケットボールリーグBIリーグが始まります。上位を狙うフェニックスは若手成長株の佐々木選手や日本代表候補の細川選手、安定感抜群の金丸選手や太田選手等のベテラン選手が去年の経験を生かし活躍を見せてくれます。そこに走力があり3ポイントシュートも非常に上手い外国人選手が加わり、**リーグ屈指の速くて面白いチーム編成**となりました。

## ◆ぜひ知ってほしい三遠ネオフェニックスの活動◆

三遠ネオフェニックスは「**三遠地域を笑顔で活力ある街に！**」という経営理念の元、様々な地域活動を行なっています。学校訪問や放課後課外活動“のびるん de スクール”、バスケットボール教室など子供たちに笑顔や“きっかけ”を与える活動や、バスケットボールとは全く関係のない地域のイベント参加や各地の物産、観光のPR等を応援リーダーである選手達が行っています。地域の皆さまに愛されるクラブを目指して、これからも活動していきます。



小学校での教室の様子

## ◆図書館での活動を振り返る◆

長年、豊橋市図書館では「三遠ネオフェニックス展」やパブリックビューイングを通じて、地域のプロバスケットボールクラブであるフェニックスの魅力を伝えさせていただいています。更に去年は「知の伝道師」第1号として110周年記念事業のリレートーク、記念セレモニーにも参加させていただきスピーチやテープカットを行わせて頂きました。このような**活動の中で地域の魅力を知り、それを多くの方々に伝えていければ**と強く思っています。

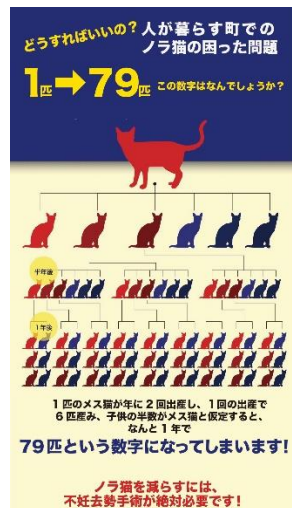
# 「知の伝道師」No.24 命にやさしいまちづくり ハーツ

命にやさしいまちづくり ハーツの皆さんは、地域猫活動（TNR+M）を啓発、推進、実践する活動しています。豊橋・東三河の猫たちのために行う治療や譲渡などの活動をご紹介します。

## 豊橋市図書館「知の伝道師」が語る地域猫活動

### ◆飼い主のいない猫が増えないよう、不妊去勢手術を施すお手伝い◆

飼い主のいない猫～いわゆる「ノラ猫」と呼ばれる猫は、手術によって繁殖制限をしないと、爆発的に増える可能性があります。増えてしまった猫はご近所でトラブルの原因となるため、手術して増えないようにする方法を相談者にお伝えして、そのお手伝いをしています。通称 TNR と呼ばれます。T=Trap（捕獲）、N=Neuter（手術）、R=Return（元の場所に戻す）の頭文字で TNR。これに M=Management（管理）を加えると、「地域猫活動」になります。



ノラ猫を人道的に減らす最善の方法。  
**TNR 活動!**

**Trap 捕獲して**  
どうやって捕まえるの？  
餌をあげることで寄ってきて、早稲藁の籠で安全に捕まえます。

**Neuter 不妊・去勢手術を施して**  
どうして手術するの？  
ノラ猫を減らすためには、手術を施さなければなりません。

**Return 元の場所に戻す**  
どうして元に戻すの？  
お家に放せば、遺棄犯罪です。悪い手を返すのも困難です。

T.N.R.のその後は・・・？  
**Management 猫の管理**  
マネージメント

- ①不妊去勢手術を施し、これ以上増えないようにした上で、元いた場所に戻します。
- ②適切な餌を与え、食べ残しやフンの掃除をして周辺美化につとめ見守っています。

ノラ猫の寿命は4年程度と短いため、このように管理していけばノラ猫の数は減少し、トラブルも減っていきます。

適切な餌やり、トイレの設置、シェルターの設置

これらの猫を地域猫と呼びます

**餌やるな！だけでは解決しません**

### ◆不妊去勢手術を施した猫を、きちんと管理できる環境作りのお手伝い◆

不妊去勢手術をして、餌場やトイレを作ったり、その周辺を掃除して環境を整えることを「地域猫活動」と呼びます。手術をした猫は繁殖せず、その寿命は平均3～5年と言われますので、その間、猫がその場で生きていけるよう管理する方法をお伝えしています（※おやみに餌やりを止めたり、猫の命を脅かす行為は虐待にあたり、動物愛護法違反）。ハーツではメンバーやサポーターが交替で「公園」猫のお世話もしています（地域でお世話する地域猫とは性格が異なるため、便宜上こう呼びます）。毎日フードと水を運び、周辺を掃除し、新顔を確認すると不妊去勢手術を施し、具合の悪そうな猫は保護して治療をしています。定期的に餌場の修繕などもしています。



保護され傷が回復した猫「サン」

◆行き場のない猫や傷病猫を収容し、  
回復や治療、末期の猫の看取りのためのシェルター運営◆

TNR の現場では、必ずと言っていいほど、状態の悪い、あるいはフードをもらうことが出来ず、手術しても元の場所に戻すと死んでしまう恐れのある猫がいます。そういう猫達を収容し、治療回復させ、回復の見込めない猫は、看取するためのシェルターを設けています。状態が回復し、人馴れもして、家庭に迎えてもらうのに問題のない猫は、里親様を探し、譲渡もしています。このシェルターの猫の数は常に一杯で、有志のボランティアが毎日、掃除、給餌、投薬、記録をしています。



シェルターの様子

こうしたハーツの活動は、ブログで発信しています。また、保護して里親募集している猫達は、「ペットのおうち」というウェブサイトで紹介しています。



ブログ



ペットのおうち

## ■「知の伝道師」No.24 サーラエナジー株式会社豊橋供給センター■

サーラエナジー株式会社豊橋供給センターは、前身の「中部瓦斯株式会社」を含め、東三河地域で80年以上にわたり都市ガスやLPガス、電気など、日常生活に不可欠なエネルギーを提供してきました。

近年の消防との合同訓練や防災に関する協定締結、地域環境への取組参加などからみえてきた地域のエネルギー事情をご紹介します。



南陽地区市民館での講習会



豊橋市消防本部との都市ガス研修会

### ■豊橋のエネルギーについて ガス会社の視点■

近年のエネルギー事業を取り巻く環境は、人口減少やカーボンニュートラルの実現に向けた潮流、複雑化する世界情勢などにより、大きく変化しています。そのような状況においても、サーラエナジー株式会社では、ガスをはじめとするエネルギーを安全かつ安定してお届けするという使命を確実に果たすとともに、お客さまとの「face to face」の活動により、お客さまや地域との信頼関係をより強くすることで、引き続き皆さまから選ばれ続ける企業でありたいと考えています。

### ■ガスの知識 都市ガス供給のホント■

サーラエナジー株式会社が道路の下のガス管を通して約24万戸世帯に供給している都市ガスの主原料は、**天然ガス**です。天然ガスの特徴としては、空気よりも軽いため、大気中に放出されやすく、成分中に一酸化炭素を含んでいないためガスによる一酸化炭素中毒の心配がないことが挙げられます。

都市ガスの種類の面では、サーラエナジー株式会社が提供しているのは「13A」と呼ばれるもので、大気汚染の原因となる有害物質を発生させず、二酸化炭素排出量も少ないクリーンなエネルギーです。ガスの英字部分は、A（遅い）・B（中間）・C（速い）の燃焼速度を表しています。



**豊橋市図書館「知の伝道師」活動紹介展 展示冊子**

作成・発行 令和5年8月26日 豊橋市図書館

〒441-8025 豊橋市羽根井町48 TEL0532-31-3131